

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 10 月 6 日 (2011.10.6)

【公表番号】特表 2010-534443 (P2010-534443A)

【公表日】平成 22 年 11 月 4 日 (2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2010-044

【出願番号】特願 2010-518137 (P2010-518137)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/59 (2006.01)

H 0 4 W 8/00 (2009.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/59

H 0 4 Q 7/00 1 6 4

H 0 4 M 1/00 U

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 19 日 (2011.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

近接する携帯装置を識別する方法であって、

第 1 の携帯装置および第 2 の携帯装置が互いに近接しているとき、感知識別子 (I D) を提供するステップと、

前記第 1 の携帯装置 (1) が前記提供する感知識別子 (I D) を検出するステップと、

前記第 2 の携帯装置 (2) が前記提供する感知識別子 (I D) を検出するステップと、

前記第 1 の携帯装置 (1) が前記提供する感知識別子 (I D) を検出することを伴う要求メッセージ (Q (I D)) を前記第 2 の携帯装置 (2) に送るステップと、

前記第 2 の携帯装置 (2) が、前記要求メッセージを受け取ると、確認メッセージ (A (I D)) を前記第 1 の携帯装置 (1) に送り、前記第 1 の携帯装置および第 2 の携帯装置の両方が前記の同一の、提供する前記感知識別子 (I D) を検出したとき、相互の識別を確立するステップと、
を備えていることを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、

前記要求メッセージ (Q (I D)) が感知識別子情報を備えることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の方法において、

前記確認メッセージ (A (I D)) が感知識別子情報を備えることを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の方法において、

前記要求メッセージ (Q (I D)) を送るステップおよび / または前記確認メッセージ (A (I D)) を送るステップがブロードキャストを含むことを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の方法において、

検出された感知識別子 (I D) を検査するステップを更に備え、このステップには好ましくはサーバが関与することを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の方法において、

前記感知識別子 (I D) を前記提供するステップは標識、空間的および / または時間的なパターン、またはバーコードのような視覚識別子を視覚的に提供することを備えることを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の方法において、

前記感知識別子 (I D) を前記提供するステップは音響信号のような聴覚識別子を聴覚的に提供することを備えることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法において、

前記聴覚識別子は拍手または携帯装置 (1 、 2) 同士のぶつけ合うことによって生成されることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の方法において、

前記提供する感知識別子 (I D) は時間間隔で隔てられた 2 つの連続した信号を提供することを備えることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の方法において、

前記感知識別子 (I D) の検出ステップはタイムスタンプの生成を含むことを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 9 または 10 に記載の方法において、

前記タイムスタンプは 2 つの連続した音響信号の間の時間間隔を備える表すことを特徴とする方法。

【請求項 12】

請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載の方法において、

第 3 の携帯装置が前記提供する感知識別子 (I D) を検出するステップと、

前記第 3 の携帯装置は、前記要求メッセージ (Q (I D)) を受け取ると、前記確認メッセージ (A (I D)) を前記第 1 の携帯装置 (1) に送り、相互識別を確立するステップと、

をさらに備えていることを特徴とする方法。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の方法において、

前記第 1 の携帯装置 (1) は前記第 3 の携帯装置からの確認メッセージ (A (I D)) を受け取ると、前記第 2 の携帯装置 (2) に更新メッセージを送るステップ、

をさらに備えていることを特徴とする方法。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の方法において、

前記更新メッセージは各々の識別された近接する装置 (1 、 2 、 . . .) の識別を含むことを特徴とする方法。

【請求項 15】

請求項 13 または 14 に記載の方法において、

更新メッセージは識別された近接する装置 (1 、 2 、 . . .) の間で交換されることを特徴とする方法。

【請求項 16】

請求項 1 から 15 のいずれか 1 項に記載の方法において、

所定の時間内に識別された携帯装置のリストを各携帯装置 (1 、 2 、 . . .) が保持す

るステップをさらに備えていることを特徴とする方法。

【請求項 17】

請求項 1 から 16 のいずれか 1 項に記載の方法において、

携帯装置 (1、2、...) は感知識別子 (ID) を前記検出して変更される状態を有することを特徴とする方法。

【請求項 18】

少なくとも 2 つの携帯装置 (1、2、...) をペアリングする方法であって、

請求項 1 から 17 のいずれか 1 項に記載の近接する携帯装置を識別する方法を備えていることを特徴とする方法。

【請求項 19】

請求項 1 から 18 のいずれか 1 項に記載の方法を実行することを特徴とするコンピュータプログラム製品。

【請求項 20】

請求項 1 から 18 のいずれか 1 項に記載の方法で用いられる携帯装置 (1) であって、

前記提供する感知識別子 (ID) を検出するための検出ユニット (14; 18) と、

前記提供する感知識別子 (ID) を検出することを伴う要求メッセージ (Q (ID)) を他の携帯装置に送信するように設けられたプロセッサユニット (21) と、を備えていることを特徴とする携帯装置 (1)。

【請求項 21】

請求項 20 に記載の携帯装置において、

所定の時間内に識別された携帯装置のリストを保持するメモリユニット (22) をさらに備えていることを特徴とする携帯装置。

【請求項 22】

請求項 20 または 21 に記載の携帯装置において、

前記プロセッサユニット (21) は、前記検出された感知識別子を検査サーバ (5) に送ることによって、前記検出された提供する感知識別子 (ID) を検査するように設けられていることを特徴とする携帯装置。

【請求項 23】

請求項 20 から 22 のいずれか 1 項に記載の携帯装置において、

前記プロセッサユニット (21) が検出された感知識別子 (ID) に反応して前記携帯装置の状態を変更するように設けられていることを特徴とする携帯装置。

【請求項 24】

請求項 1 から 18 のいずれか 1 項に記載の方法で用いられ、および / または請求項 20 から 23 のいずれか 1 項に記載の携帯装置 (1; 2) とともに用いられるサーバ (5) であって、データ処理のためのプロセッサユニット (51) と、データ格納のためのメモリユニット (52) と、少なくとも 1 つの携帯装置 (1; 2) と通信するための通信ユニット (53) とを備え、

前記プロセッサユニット (51) は前記第 1 の携帯装置および前記第 2 の携帯装置により検出された、前記提供する感知識別子 (ID) 間の照合を検査するように設けられていることを特徴とするサーバ (5)。

【請求項 25】

請求項 24 に記載のサーバにおいて、

前記プロセッサユニット (51) は前記携帯装置 (1; 2) が関与するゲームのゲームルールを適用するように設けられ、および / または前記携帯装置が関与する商取引の取引ルールを適用するように設けられることを特徴とするサーバ。

【請求項 26】

移動通信システムであって、

少なくとも 2 つの、請求項 20 から 23 のいずれか 1 項に記載の携帯装置 (1)、および / または少なくとも 1 つの、請求項 24 または 25 に記載のサーバ (5) を備えていることを特徴とする移動通信システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

米国特許出願公開第ＵＳ２００２／００２１２７８号（Hinckley等）は複数のセンサから状況値が抽出される装置を開示している。近接センサには赤外（ＩＲ）光が用いられて他の対象物の接近を検出する。この近接センサはＩＲ送信機およびＩＲ受信機を含み、受信された（散乱された）ＩＲ光の強度は他の対象物との距離に逆比例するものとする。ここでもまたこの公知の近接センサは近接対象物の識別に関する情報を提供するためには用いられていない。